

南会津 のうりん ニュース



今号の写真:下郷町芦ノ原地区の棚田

目次

トピックス

- ・第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました
- ・田島第二小学校で緑の少年団の結団式が行われました
- ・田んぼの生きもの調査を実施しました
- ・「只見町薪ステーション」がオープンしました
- ・令和6年度 南会津地方町村農林担当課長等会議を開催しました
- ・山火事防止及び緊急対応力強化・安全大会を開催しました
- ・農業水利施設の合同点検を実施しました
- ・アスパラ塾(第1回、第2回)を開催しました！

農林事務所からのお知らせ

- ・令和6年度ワークステイ事業の募集を開始しました
- ・農作業中の熱中症対策を徹底しましょう！
- ・新規林業従事者定着支援事業を今年もやります
- ・農林水産部公式YouTubeチャンネル

コラム

- ・キラリと光る南会津の6次化商品
～じゅうねん油～【株式会社げんき村】
- ・輝く南会津の農林業者インタビュー【齋藤宏樹さん】

第221号(令和6年7月3日発行) 福島県南会津農林事務所

トピックス

＼第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました／

5月11日、南会津町まちの駅ふるさと物産館で「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

JA会津よつば田島営農経済センターの協力の下、物産館で1,500円以上購入された方へ会津田島アスパラをプレゼントしました。

キャンペーン当日は天候にも恵まれ、県内外から多くの方が会津田島アスパラを求めに来館されました。また、キッチンカーイベントも同時開催し、会津田島アスパラを使った料理や飲み物などが提供され、大いに盛り上がりました。

今後も当事務所では「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催予定です。キャンペーンの情報については当事務所ホームページなどに掲載しますので、下記URLより是非チェックしてください！

【ホームページURL】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/itakyan.html>



キャンペーンの様子



提供されたアスパラ料理(一部)

(企画部)

[トップへ戻る](#)

＼田島第二小学校で緑の少年団の結団式が行われました／

5月9日、田島第二小学校(南会津町)において同校緑の少年団の結団式が行われました。

緑の少年団は、次代を担う子供たちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした団体です。

田島第二小学校では、昭和56年から緑の少年団活動が行われており、今年は5年生の児童15名全員が緑の少年団員になりました。

結団式では、団員の代表により、緑に親しみ守り育てるという力強い宣言が行われ、結団式の後は、南会津町産の木材で作られた棒を投げて得点を競うニュースポーツを体験しました。この日に使った木の棒は1本ずつ樹種が異なる特注品で、子供達は「ホウノキが投げやすいよ」「サクラは重たいね」などと、様々な木の手触りや重さの違いを感じて、投げる前に自分好みの棒を選んでいました。

得点のピンが倒れても倒れなくても、全員が大きな歓声を上げて楽しみながら木材とふれあいました。

今年1年間の活動では、学校の周りの植物を調べたり、植物園を散策したりする予定とのことです。緑の少年団の活動を通じて、子供たちには緑に親しみ、南会津の豊かな森林を愛して大切に作る心を育ててほしいと思います。



緑の少年団結団式



活動の様子

(森林林業部)

＼田んぼの生きもの調査を実施しました／

生きもの調査は、「ふくしまの農育」推進事業の一環で行われ、田んぼや水路といった身近な場所にいる生物、自然とのふれあい、自然環境やそれを育む農業・農村の有する多面的機能の大切さについて理解を深めることを目的としています。

今年は6月13日にほ場整備事業荒海地区内の土水路で南会津町立荒海小学校の3年生と一緒に調査しました。みんな夢中になって調査した結果、ツチガエルやドジョウ、コシマゲンゴロウなど様々な生きものをたくさん捕まえることができました。アクアマリンふくしまの職員2名を講師に招き、生きものを捕まえるコツや捕まえた生きものの特徴、見分け方を教わりました。さらにアクアマリンふくしまから連れてきていただいたタガメやゲンゴロウなども観ることができ、みんな興味津々でした。貴重な体験ができた1日となりました。



生きもの調査の様子

(農村整備部)

「只見町薪ステーション」がオープンしました

5月30日、只見町長浜地区に「只見町薪ステーション」が開所しました。

この施設は只見町が設置したもので、町産の丸太を集積し薪の加工販売を行う施設です。

只見町は、平成26年にユネスコエコパークに登録されました。

その目標の1つに「持続可能な環境・資源の利用と地域社会の発展」がありますが、町内では利用期を迎えた人工林が増える一方で、木材価格の低迷や木材市場まで遠く輸送に費用がかかることなどにより、森林整備と森林資源の有効利用が進まないという課題がありました。

それを打開するため、只見町は令和4年度に薪エネルギー推進室を設置し、体制整備を進め、この度、その要となる薪ステーションの開所を迎えました。

開所式では、渡部只見町長のあいさつ等の後、町長、町議会議長、町議会経済常任委員長、当施設を運営管理する只見町森林組合長、会津森林管理署南会津支署長、当事務所長の6名によるテープカットが行われました。

また、式の後、施設内の薪製造機の試運転が行われ、丸太が見る見るうちに薪に変わっていく様子に、参加者からは感嘆の声が上がりました。

薪ステーションで生産される薪は、間伐材など只見町内の未利用資源を原料としており、町内で薪ストーブを利用している一般家庭で使用されるほか、今後は町内の温泉施設「とき さとゆり 季の郷湯ら里」に薪ボイラーを導入し活用することも計画されています。

只見町は、薪を化石燃料に代わる地産地消の再生可能エネルギーとして、地域内の経済循環に結びつけ、地球温暖化を防ぐ低炭素社会の第一歩とする考えです。

当事務所では、これらに加えて継続的な森林整備による地域の保全も実現していく取組として、引き続き只見町の取組を支援してまいります。



只見町薪ステーション 開所式

(森林林業部)

令和6年度 南会津地方町村農林担当課長等会議を開催しました

5月15日、南会津合同庁舎2階会議室において、令和6年度南会津地方町村農林担当課長等会議を開催しました。

この会議は各関係機関・団体が連携・協力して各種事業を効果的、効率的に実施するため開催しているものです。

当事務所長をはじめ、町村農林担当課長、農業委員会事務局長、JA会津よつば田島営農経済センター及び南郷営農センター担当者が出席し、県農林水産業振興計画の概要や各部主要事業について説明を行いました。また、町村からは各町村の主要事業について説明がありました。

今後も、各関係機関・団体と連携して各種施策を展開してまいります。



会議の様子

(企画部)

[トップへ戻る](#)

＼山火事防止及び緊急対応力強化・安全大会を開催しました／

5月に「山火事防止及び緊急対応力強化・安全大会」を南会津3地区(下郷地区、只見地区、南会津地区)で開催しました。

この取組は、南会津地区山火事防止連絡協議会(事務局:当事務所森林林業部)が主催し、空気が乾燥し山火事が起こりやすい春期における山火事予防の啓発と、事故や怪我等の緊急時における対応力の強化を目的としたもので、県内初の取組です。

具体的には、南会津地方広域市町村圏組合消防署の方を講師に、山火事予防を含めた火災予防全般に関する講義と、山火事が発生した場合の通報訓練(関係機関における連絡体制の確認)を行うとともに、林業の現場で事故が起きた場合を想定したロールプレイングや救急救命講習会(林業に関わる事故を想定)を受講しました。

当日は、協議会構成員である管内の各森林組合から組合長をはじめ、職員及び作業班員全員が参加するなど、各町村や関係事業体等を含め3地区でのべ74名が参加しました。参加者からは積極的な発言や活発な意見交換が行われる等、活気ある取組となりました。

「実際の森林内の現場において、事故を想定した訓練を実施したい。」等の意見も寄せられたことから、今後も林業の現場における山火事予防(火災予防)及び緊急対応力の向上に繋げていく活動を継続するとともに、内容をブラッシュアップし、より効果的な取組を進めていきたいと考えております。

(森林林業部)



只見地区でのロールプレイングの様子



救急救命講習会

＼農業水利施設の合同点検を実施しました／



点検状況(只見町水路橋)

県では、農業水利施設の適切な維持管理を行うために、毎年各町との合同点検を実施しています。農業水利施設とは、農業に使う水を取水したり排水したりする施設で、皆さんの身近にもある田んぼ脇の水路や、川から取水する堰(「頭首工」といいます)、ため池などのことです。これらは地域の農業生産に欠かせないのは勿論のこと、大雨時の洪水・浸水被害を防いだり、施設を流れる水は消雪や防火に使われたりと皆さんの生活の中でも重要な役割を担っています。

合同点検では、コンクリートのひび割れや変形、金属部分のさびの状況に加えて、水門の場合は実際に操作して開閉状況なども確認していきます。点検結果は、施設の補修や改修の必要性を判断する材料となり、今後の維持管理計画に役立てていきます。最近では、管理者の高齢化等により日常の手入れや点検の機会が減少し、これまで以上に施設の老朽化や劣化の進行が早まったり、不具合の発見が遅れたりすることが懸念されます。

身近な農業水利施設の劣化や損傷が気になった際は、早めに各町の担当課に御相談ください。

(農村整備部)

[トップへ戻る](#)

＼アスパラ塾(第1回、第2回)を開催しました！／

5月11日(第1回)、6月8日(第2回)にアスパラ塾を開催しました。

各回とも8名の参加がありました。第1回はアスパラガスの生理生態、栽培管理について、第2回は実際にアスパラガスを栽培している生産者ほ場をお借りし、実習を交えながらアスパラガスの定植、定植後の管理について学びました。受講者の皆様からはアスパラガス栽培の基礎を分かりやすく勉強できているとの声をいただいています。

今後も第4回までの開催を予定しており、途中からの参加も可能です。農業経験の有無や年齢等は問いません!!アスパラガス栽培に関心がある皆様の参加をお待ちしております。

第3回 日時:令和6年7月13日(土)午後1時30分～

内容:夏秋管理について(摘芯、追肥、病害虫防除など)

第4回 日時:令和6年9月21日(土)午前10時～

内容:秋冬管理について(養分転流に向けた茎葉管理など)

詳しくは当事務所農業振興普及部ホームページまたは電話でお問い合わせください。

【ホームページURL】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/minamiaizu-asuparajyuku-r6.html>

【お問い合わせ先】

農業振興普及部 0241-62-5264

(農業振興普及部)



ほ場での実習

農林事務所からのお知らせ

—令和6年度ワークステイ事業の募集を開始しました—

当事務所では、新規就農者の確保や都市居住者等と農林業者との交流を促進することを目的として、南会津ふるさとワークステイ事業を実施しています。

農作業や農村への滞在を希望されている方が農作業を手伝う「現地での農作業体験」、オンラインで南会津地域の農家との懇談の機会等を提供する「オンラインでの体験」の2種類が体験可能です。



農作業体験の様子

「現地での農作業体験」では当事務所や各町村担当者との就農や移住の相談、空き家見学を併せて行うことが可能です。

詳しい内容は当事務所企画部のホームページに掲載しておりますので、県外にお住まいの方等に御紹介ください!たくさんの御参加をお待ちしております!

併せて、当事業の受入農家を募集しています。事業の詳細について興味を持たれた方は、当事務所企画部(0241-62-5252)まで御連絡ください。

(企画部)

—農作業中の熱中症対策を徹底しましょう！—

福島県内では毎年5月上旬から農作業時の熱中症被害が発生しています。屋外だけでなくハウス内でも発生する例が多く見られます。また、夜間の作業においても死亡事故が発生しているため、時間帯に関わらず熱中症に注意して作業を実施しましょう。体調が優れない時や暑い時間帯の農作業は控えるようにしましょう。

また、作業は極力複数人で行い、定期的に異常が無いか確認し合うことが大切です。もし1人で作業を行う場合は、家族や周囲の人に作業場所などを事前に伝えましょう。熱中症予防として、通気性の良い服装や帽子を着用して作業を行い、こまめな水分補給と休憩を心掛けましょう。1時間に1回、10分程度の休憩を取り、のどが渴いていなくてもコップ1杯以上の水分補給を行うことも効果的です。また、空調服や吸湿速乾性の衣服の着用など熱中症対策アイテムやMAFFアプリを積極的に活用し、十分な安全対策をして農作業を行いましょう。

もっと知りたい!! **熱中症対策**

熱中症対策アイテム

身体を冷やす

暑い時間帯の作業等が避けられないときに活躍



ファン付きウェア、ネッククーラー

1人作業の備え

やむを得ず1人作業をする際のリスクを回避したいときに活躍



ウェアブル端末、応急セット

環境改善

作業場を涼しくしたり、休憩の質を高めたいときに活躍



ミストファン

予防のポイント

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渴きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数人で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



熱中症が疑われる場合には

01 作業を中断



(代表的な症状)
・ 汗をかかない、体が熱い
・ めまい、吐き気、頭痛
・ 倦怠感、判断力低下

>>

02 応急処置



・ 涼しい環境へ避難
・ 衣服をゆるめ体を冷やす
・ 水分・塩分を補給

03 病院へ



応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関で診療を受けましょう!!



Android



iOS

MAFFアプリ 二次元コード

農林水産省「熱中症対策パンフレット」(一部抜粋)

(農業振興普及部)

—新規林業従事者定着支援事業を今年もやります—

当事務所では、昨年度に引き続き「新規林業従事者定着支援事業」を実施します。

この事業は、林業に就業希望の方、森や自然に興味のある方を対象に、南会津の林業を体験する機会とその魅力を発信し、地域に根ざした新たな林業担い手を募ることを目的とした当事務所独自の取り組みで、今後、現場作業の体験会や林業事業体が行う就業相談会の支援などを行っていきます。

南会津地方は、森林が9割を占めるみどり豊かな地域です。

この森林を活かし、将来へ継承するためには、森林整備や木材生産活動を担う「林業従事者」が必要不可欠ですが、高齢化などにより減少している現状です。

林業は、木を切り木材を生産するだけでなく、土砂災害の防止や地域風景の保全など森林の持つ様々な機能を十分に発揮させ、暮らしを支える、地域にとって欠かすことのできない重要な仕事です。

そんな仕事に携わってみませんか。林業に興味のある方は、是非、農林事務所に御相談ください。

(森林林業部)

6

トップへ戻る

ー農林水産部公式YouTubeチャンネルー

福島県農林水産部では、公式YouTubeチャンネル「1400のネタバラシ」を開設しています。

職員自ら自由な発想で企画・取材・編集し、県産農林水産物のおいしさや「福島ならではの」魅力を伝える動画を制作しています。

ぜひ御覧ください！



◀ 農林水産部公式
YouTubeチャンネル
二次元コード

(企画部)

コラム

キラリと光る南会津の6次化商品
～じゅうねん油～

【株式会社げんき村】



シソ科の植物エゴマ(じゅうねん)を御存じでしょうか。只見町では「エゴマ」を「じゅうねん」と呼び、昔から栽培されています。

今回御紹介するのは、只見町の株式会社げんき村が販売する、「じゅうねん油」です。

自社で収穫しエゴママイスターによって厳選されたエゴマを使用した本商品は、その透明感や甘みなどが高く評価され、3月9、10日に開催された「第14回日本エゴマ全国サミットin広島東条町」の味見大会エゴマ油部門において、第1位に選ばれました。

エゴマは必須脂肪酸オメガ3が豊富で、「畑の青魚」とも言われています。食べることで、「血液の循環が良くなる」「脳の老化やボケを防ぐ」「太りにくい身体になる」など様々な効果があります。

美味しく体に良い「じゅうねん油」、ぜひ御賞味下さい。

【株式会社げんき村】

📍 只見町只見上ノ原1791-6

☎ 0241-82-2387

🌐 <http://www.egoma-tadami.jp/>

輝く南会津の農林業者インタビュー【齋藤宏樹さん】

今回は、「林業アカデミーふくしま」を修了し、令和5年度より南会津町で林業に就業された齋藤宏樹さんにお話を伺いました。

【林業へ就業したきっかけを教えてください】

林業への就業を決めたキーワードは2つあります。

まず1つ目は「初めての選択」ということです。これまでは周囲がそうするからというような流れでの決断が多かったのですが、今まで生きてきて初めて「これだ！」と感じたものが林業でした。

2つ目は「良い意味で理由がない」ということです。本当にインスピレーションで就業を決めました。

自分の名前に「樹」という文字が入っていたこともあり、幼いころから自然の中で働きたい、自然に携わりたいという思いがありましたが、具体的なアプローチ方法を見つけられずにいました。そんな中「福島 自然 仕事」や「福島 自然 貢献」というキーワードでインターネット検索をしていたところ、林業アカデミーふくしまというものが開講する、1期生を募集しているという記事を見つけ、これしかないと思い入講しました。

【南会津町の印象を教えてください】

人と山並みが良いなと感じています。林業への就業を考える前、テレビで南会津町が特集されている番組を見て興味を持ち、実際に足を運んでみたのですが、その時は初めて来た気がしなかったです。

また、南会津町は広葉樹が多いことに気づき、自分の名前も「宏樹」で広葉樹とリンクしていたこともあり南会津町での就業を希望するようになりました。林業アカデミーふくしまでも南会津町出身の講師と出会ったり、年3回あったインターンシップもすべて南会津町でやらせてもらうなど後押しもありました。

ゆるキャラの「んだべえ」も可愛いですね。

【林業アカデミーふくしまを修了しての感想を教えてください】

1年間という短期間で林業の全体を学べたことがとても良かったです。自分はゼロからのスタートだったため、業界の全体像や流れを学ぶには一番良い手段だったと感じています。

また、アカデミーを修了した人同士で連絡を取り合っただけで情報共有をしたり、お互いの現場を手伝ったりしているので、そういった人脈を作れたことも良かったと思います。このつながりは大事にしていきたいです。

【今後の展望・目標はありますか】

今、南会津町で暮らしていけることが幸せです。ですから、今後の展望を見つながら暮らし続けていくことが目標ですね。

【最後に、新規林業就業者へメッセージをお願いします】

人柄だけでは食べていけないと感じています。一緒に給料を上げるための仕組みをつくり、林業を儲かる職業にしていきたいと思います。



齋藤宏樹さん



靴のカラーリングが「んだべえ」でした

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1
☎ 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256
ホームページ: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/>

